

上野天神祭：新町

新町の「だんじり」は、薙刀鉾として知られている。これは、山車の屋根から突き出た日本の薙刀に由来する。見送幕の墨で書かれた碑文によると、薙刀鉾は 1783 年後に作られた。2016 年に見送幕は複製品に置き換えられた。前幕は、前漢時代（206 BCE-220 CE）の英雄、張良（紀元前 251-186 年）の生涯が描かれている。この中に伝説的な賢者、黄石公が失くした靴を返す場面がある。

胴幕には、並んだふたつの図が描かれている。左側には、日本鶯が松竹梅の中を飛ぶ図であり、右側には、雀がやはり松竹梅の中を飛び回る図の「松竹梅に飛雀・鶯図」である。日本の松竹梅は東アジア美術では特別な画題となっている。この三つの植物は厳しい冬にも耐え、困難に直面したときにも再生する力を象徴している。

新町の「しるし」は、松に囲まれた小屋で休んでいる白楽天（772-846：白居易としても知られている）像である。白居易は唐時代（618-907）中国の詩に大きな影響を与えた詩人であり知事でもあった。彼の作風は平易で流麗で詩文に優れていた。松の木は精神性と強さを象徴している。